

令和元年度 獣害被害対策講演会

事前申込
不要

地域ぐるみで イノシシ被害を 食い止める方法



市内でもイノシシやハクビシン、アライグマ等の野生鳥獣による被害が増加しています。もはや自然災害ともいえる鳥獣被害対策は、農家の自助努力や猟友会に委託している駆除活動だけでは限界で、地域での協力体制が求められています。そこで昨年に引き続き、地域ぐるみの被害対策について講演会を開催します。また、実際に対策に取り組んでいる小幡の十三塚地区での事例紹介も行います。

日時

7月27日 土 午前10時～正午

場所

中央公民館 大ホール (石岡市柿岡 5680 番地 1)

講師



浅田 正彦 氏 (合同会社 AMAC 代表)
農林水産省の農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー。房総半島や伊豆大島で、農家や集落に寄り添うことをモットーに、現場支援、調査、研修会を行う。



岡村 健 氏 (株式会社緑地管理代表)
栃木県の森林組合で植林から木材搬出までを経験し、林業経営のサポートをしながら、鹿沼市内で森林の獣害被害対策のサポートも行う。



昨年の講演をきっかけに地域ぐるみの獣害対策に取り組んだ小幡十三塚地区では、今年の5月に捕獲実績をあげました。

関農政課 (支所) TEL 43-1111 (内線 1151)